

春とは名ばかりの厳しい寒気の日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、一月十四日(日)に開催しました「出石永楽館公演」では、多数のご参加・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

前夜から降り始めた雪が心配されましたが、積もった雪も雰囲気盛り上げてくれるのに一役買ってくれました。県内各地から多数の方にご来場いただき、趣深い永楽館の舞台で、客席と一体となつた公演ができたこと安堵しております。

また昨年末に開催された子ども芸能祭に出演しました、「カブキッズたか」の様子もご覧下さい。

引き続き播州歌舞伎クラブを、虫履の程、よろしくお願い致します。



今回で3回目を向かえる永楽館公演。サポーターの皆様にもお手伝いいただきました。



お招き公演

江戸時代に播州歌舞伎などの影響を受けて始まったとされる横仙歌舞伎(岡山県奈義町)。



～事務局こぼれ話～

週間天気予報を眺めながら当日の雪の心配をしていました。前夜になり突然の降雪…寝るに寝られず予定よりも早く目覚め、窓から暗い外を見ると不安の中、なんとか永楽館に到着し準備に追われていると、整理券配布にたくさんのお客様が来てくださり、ホッとしたことを思い出しました。

◆今後の出演予定

『平成29年度東播磨の地域文化を考える会』

日時:3月3日(土)午後1時30分から

場所:県立嬉野台生涯教育センター 講堂

※この会の中の活動紹介で播州歌舞伎クラブが春式三番叢を演じます。

お問い合わせ先

可町中央公民館播州歌舞伎クラブ 事務局

Tel 0795-32-2385

Fax 0795-32-4318

ホームページ

<http://takacho.tokyo.or-cms.jp/kyoiku/kabuki/>

ブログ『播州歌舞伎クラブ情報局』

<https://ameblo.jp/kabuki-club>



カブキツスどか

昨年十二月十日(日)に、ベルディーホールで「第六回子ども芸能祭」が開催されました。今年度は六月から、町の小学生八名が外題「義経千本桜」吉野山静忠信道行の場」に取組み、舞台上に挑みました。今まではクラブ員が担当していた鳴り物(狂言・太鼓)も、今回は小学生が挑戦!「間違ってもいい。真剣に取り組むこと」を目標に、新しい配役にも挑み、正々堂々とした演技に会場からは大きな拍手とおひねりが飛びました。



鳴り物も役者の動きを真剣に見つめます。



狐に化けるシーン。ドライアイスの演出により演技に力が入ります。



素晴らしい舞台をありがとう!!大変よくできました。